



現代社会 科 学習指導計画案

・学校名 _____ 指導教員 _____
 _____ 実習生 _____

・日時 平成25年 11月 12日 (火曜日) 第 6校時 場所 12401教室

・対象 _____ 年 _____ 組 (生徒数: 男子 _____ 名、女子 _____ 名; 合計 _____ 名)

・単元名 経済活動のあり方と国民福祉

・単元のねらいと指導について

(1) 教材観・題材観

本時では、公害の定義、なぜ公害が生じたのか、経済活動と公害の関係性、四大公害訴訟について、公害に対する日本の公害対策や法整備、現代の公害問題、これからの環境問題への展望をおさえる。

(2) 生徒観

おとなしく、積極的ではないが、問いかけたことには答えてくれる。

(3) 指導観

さまざまな法律などが出てくるがわかりやすく説明することや時代の流れに注意する。

・単元の指導計画 (記号時数および本時の位置づけ)

・本時の主題名 公害防止と環境保全

・本時の指導目標

公害や日本の公害、その対策、現代の公害問題の知識を得て、環境問題への展望を持たせる。

・本時の評価の観点

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 日本の公害問題や対策、現代の公害問題、環境問題の展望に関心を持ったか | 環境基本法や環境アセスメントなどの思考を深めることができたか | 資料から環境影響評価やハイテク汚染など見て取ることができたか | 個人や企業は法的、社会的に責任ある行動が求められていることを理解できたか |

・使用する教材・教具
 (教科書 P.237-238 プリント)

・本時の指導過程

| 指導項目 | 指導内容 | 学習活動 | | 指導上の留意点 | 時間 | |
|------|-------------|--|--|--|--|-----|
| | | 教師のはたらきかけ | 生徒の学習活動 | | | |
| 導入 | 本時の内容を簡単に話す | 板書を受けさせる準備をさせる。 | 授業を受ける姿勢を整える | 休み時間から授業への切り替えをさせ、授業に集中させる | 6分 | |
| 展開 | 公害とは | 明治以降の急速な工業活動拡大によって、生態系に負担をかけ、ついには人命を損ねるほどの被害をもたらした。1950-1980年代にかけては、「公害先遣隊」という呼び名まで登場した。公害とは「環境基本法第2条」に定義された、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭によって人の健康や生活環境に関わる被害が生じることである。 | 教科書を眺ませる 解説する 板書する 発問 「大阪であった公害は？」 板書する 解説する プリントの穴を埋めさせる | 教科書を読む 板書を写す 発問に答える 「四日市」「西淀川」など 板書を写す プリントの穴を埋める | 漢字の読みなどで詰まったらフォローし、養める 悩んでいたらフォローを入れる | 40分 |
| | 公害と経済活動 | 企業は利潤追求を原則としているため、有害廃棄物の処理や汚染の防止にかかる費用を抑えた。そのため公害がおこった。公害を無くすには、企業への公共的な政策が必要である。 | 教科書を眺ませる 解説する 板書する | 教科書を読む 板書を写す | 漢字の読みなどで詰まったらフォローし、養める 悩んでいたらフォローを入れる | |
| 閉 | 四大公害訴訟 | 公害は明治期にも足尾銅山鉱毒事件などがあったが第二次世界大戦後の公害として挙げられるのが四大公害訴訟と呼ばれる。いずれも被害者側が訴訟している。 | 発問 「四日市公害は？」 「四大公害は？」 教科書を眺ませる 解説する プリントの穴を埋めさせる 板書する | 「四日市ぜんそく、イタイイタイ病、新潟水俣病、熊本水俣病」 教科書を読む プリントの穴を埋める 板書を写す | 漢字の読みなどで詰まったらフォローし、養める 悩んでいたらフォローを入れる | |
| | まとめ | 本時のまとめ 学習内容を振り返りまとめ | わからないところがな いか聞く | わからないところがあ れば質問する | 時間がなければ早く | 5分 |